

令和6年度

学校関係者評価報告書

令和7年2月

筑波研究学園専門学校  
学校関係者評価委員会

## ■令和6年度 学校関係者評価について

筑波研究学園専門学校では、平成20年度より自己点検・評価委員会を設置し、日頃の教育活動について自己点検・評価を実施してきました。また、平成25年度からは、企業及び業界団体や保護者、卒業生等で構成する学校関係者評価委員会を設置し、様々な立場を代表する委員の皆様から学校運営・教育活動実績報告書をもとにご議論いただき、本校の学校運営や教育活動に対して点検・評価していただいております。

以下、先般開催した学校関係者評価委員会の評価結果について報告します。

### 1. 実施日時・場所

令和6年9月6日（金） 14：00～16：00

令和7年2月7日（金） 14：00～15：30

筑波研究学園専門学校 6号館 大講義室

### 2. 実施方法

#### (1) 実施組織：学校関係者評価委員会

##### ○委員長

野口 孝之 学校法人筑波研究学園 理事  
筑波研究学園専門学校 学校長

##### ○評価委員

俣野 祐介	学校法人 霞ヶ浦高等学校 教諭	教育関係
鈴木英利也	一般社団法人茨城研究開発型企業交流協会 副会長 株式会社 ベテル 常務取締役	業界団体 (地元企業)
大山 泰明	土浦商工会議所 総務課長 補佐	業界団体
石井 聖信	茨城県自動車整備振興会土浦支所 教育課 課長	業界団体
河野 正博	一般社団法人茨城県建築士事務所協会 会長 株式会社 河野正博建築設計事務所代表取締役	業界団体 (地元企業)
坂 卷 操	筑波メディカルセンター病院 事務部外来一課課長	地元企業
倉田 和典	社会福祉法人えがお 理事 施設統括部長 兼 法人事務部長	地元企業
舘野 仁志	五籃会会長（保護者会代表）	保護者
笠間 俊雄	輝峰同窓会会長（卒業生代表）	卒業生

##### ○学校関係

佐久 芳夫 学校法人筑波研究学園 理事長  
松下 博充 学校法人筑波研究学園 専務理事  
大森 淳子 学校法人筑波研究学園 理事  
筑波研究学園専門学校 副校長

水越 武	筑波研究学園専門学校 ITものづくり学科 学科長
齋田 光幸	筑波研究学園専門学校 自動車整備工学科 学科長
原 智 樹	筑波研究学園専門学校 建築環境学科 学科長
宮本 晃太	筑波研究学園専門学校 医療情報学科 学科長
押手 美加	筑波研究学園専門学校 こども未来学科 学科長
湯浅 敏弘	筑波研究学園専門学校 法人事務局 企画担当部長
日下部俊博	筑波研究学園専門学校 総務部 部長
杉山由紀夫	筑波研究学園専門学校 入学・学生支援部 部長
岡田 地余	筑波研究学園専門学校 教務部 副部長

(2) 評価基準：文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠

(3) 評価方法：令和5年度学校自己点検・評価報告書に対する学校関係者評価

### 3. 評価の項目

次の11項目について実施

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

### 4. 評価項目に対する評価

(1) 各項目について、次の4段階を基準とし、小数点第二位で評価しています。

4：適切          3：ほぼ適切          2：やや不適切          1：不適切

(小数点表示は評価者の平均点を記載)

(2) 委員会で提出された意見や質疑、提案事項等を記載

### 5. その他

令和6年度 学校自己点検・評価を併せてご覧ください。

## 項目 1 教育理念・目標

評価：3.94

- ① 学友会の設置を高く評価します。ぜひ、様々な活動を通して学生同士の交流はもとより、学内外での活動を通して TIST の代表者としての自覚をもち、社会や地域貢献に参画できる人材の育成をお願いします。
- ② 既存のスタイルを変革し、新しい取り組みを取り入れていく取り組みは素晴らしいと思います。
- ③ 学校の理念や目的が明確で、職業教育の特性も示されています。将来構想も計画されており、業界のニーズに対応した教育目標が設定されています。さらに、理念や目的の周知活動を強化し、学生や保護者への理解を深めるとさらに良くなると思います。
- ④ こちらの項目については問題ないと思っています。BYOD について、職場によっては自分のデバイスを持ち込めない等の制限がある事は知っておいて欲しいです。
- ⑤ 令和7年度から導入する90分授業について、教壇に立つ先生方のアイデア等で飽きずに楽しめる時間の共有を創作してもらいたい。
- ⑥ 特記事項に記載されている、「今後必要とされる取り組みと広報活動に関する教職員アンケート」でどのような課題があげられたのかお聞きできればと思います。

## 項目 2 学校運営

評価：3.92

- ① 経営5カ年計画にそって運営されている。
- ② 毎年着実に良くなっていると感じられる。
- ③ システムは、新しいものに変更され既読率が上がったとのことで、これからも浸透してけると良い。
- ④ 新システム導入により連絡効率が高まり AI 活用の環境整備も進展し、経営計画に基づく事業運営がよくなされています。一方、旧システム併用や内定者情報管理などで更なる効率化を期待します。
- ⑤ 採用側に対する求人情報システムの活用マニュアル等があれば提供していただきたい。学内情報が共有できる BYOD 環境構築に期待します。しかし、システムに頼り過ぎて教職員間及び学生との対面によるコミュニケーションが不足しないよう配慮願います。

## 項目 3 教育活動

評価：3.91

- ① 多彩な目標を計画し上手く推進している。
- ② 学友会やキャリア教育、BYOD 環境、DX 授業で実践的学びを強化し、教員研修や業界連携の成されているようです。一方、アンケート分析や AL 型グループ学習の活用、企業訪問や管理者研修の充実が期待されます。

- ③ 昨今の PBL や AL で得られる成果への期待を踏まえると、90 分授業導入は賛成です。しかし、多くの高校生が 1 コマ 90 分を経験してきていない実情もあります。授業の組み立てに加えて、生徒の興味関心を保たせる雰囲気作りも大切なのではないかと思います。
- ④ 「授業を行う要件を満たしている教員の確保」については、現教員がその授業の要件を満たす努力が必要であると思います。TIST の教員方が専門分野を広げていくことで、学科の人材育成目標の達成に繋がると思います。
- ⑤ 地元企業との交流や、イベントへの参加を積極的に進めることで、県南地域の方に広く認知していただける環境を整えていると思います。

#### 項目 4 学修成果

評価：3.83

- ① 就職率 99.6% や習熟度別授業による資格取得率の向上が評価できます。
- ② 卒業生の勤務先訪問等を通して、卒業生の活躍状況を把握するとともに、模範となる卒業生については在校生や高校生向けの体験談に協力してもらおう等、関係性の構築が必要とします。
- ③ 学習成果として資格取得は対外的にも分かり易いと思います。資料では、まだ未確定のものも多いですが、来年度も引き続き頑張ってください。
- ④ 数字だけでの評価をすると、目標値を下回る結果となってしまった。
- ⑤ IT デジタル学科の資格取得率・就職内定率が上昇した点が素晴らしいです。先生方と学生さんの日々の積み重ねによるものかと思います。他学科も含め、資格取得に関してはさらなる合格率の向上を期待します。
- ⑥ 退学者を減らすことは、入学者を増やすことと同じで、とても大事なことです。家庭の事情でどうしようもない場合があるが、そうでない学生を如何にサポートしていくか。
- ⑦ 退学防止に向けた要指導学生の早期支援やデジタルツールの活用を強化した方が良いと思います。

#### 項目 5 学生支援

評価：3.84

- ① キャリア相談窓口や遠方学生への支援など、学生支援体制が充実しており、保護者や地域との連携も活発に行われています。今後は留学生支援や部活動支援のさらなる強化を期待します。
- ② 学生のキャリア相談はどのくらいの数がありましたか？またどのような相談が多かったのですか？専門分野については学科内においてキャリア相談ができる体制が大切であると思います。
- ③ 学生に手厚く指導されている。

- ④ 保護者や学生さんへの支援や交流する機会が充実している印象です。メンタルヘルスケアに関してはどのような対策が講じられているのでしょうか？
- ⑤ 経済状況が厳しい家庭が増えてきている中で、現在の支援の内容では配慮が不十分と感じます。
- ⑥ 高校への出前授業をすることはとてもいいと思う。高校生の意識も変わるし、宣伝にもなるので続けてほしい。

## 項目 6 教育環境

評価：3.86

- ① 大規模修繕計画に沿った環境整備が進み、防災訓練や安否確認訓練の実施も評価できます。継続的なメンテナンスと安全対策の見直しを図り、さらに快適で安心な教育環境づくりを進めてください。
- ② 学校施設の将来像を提案したマスタープランや資金計画を作成するとともに、実施工程を考えたい。
- ③ 避難訓練や学生の安否確認訓練は非常に有効であると思います。その際、担任の負担が重くなり実災害があった時に身動きが取れないことも想定した負荷の分散も検討してください。

## 項目 7 学生の受け入れ募集

評価：3.87

- ① 毎年、堅実に実行されている。
- ② HP をリニューアルし、SNS 活用など情報発信の強化を検討している点は評価できます。更新時期の遅れを解消し、学納金の見直しを含めた総合的な運営方針を継続的に検討しながら、利用者目線の充実をお願いします。
- ③ ホームページの大幅なリニューアルは魅力向上で良いと思いますが、更新時期が遅れることのないよう配慮願います。
- ④ 高校では現時点で春休みのオープンキャンパス参加計画を立てさせています。次年度のことではありますが、4月上旬までのオープンキャンパス日程は早めに周知できるとよいのではないかと思います。
- ⑤ 社会人の学び直しの中での受け入れ体制を検討してはどうか？
- ⑥ 重点項目として「外国人留学生の募集拡大・強化」とあるが、今以上に外国人をふやすのもどうか疑問である。サポートなどもしているが、地元の日本人学生に注ぐエネルギーが少なくなることはないようにしたい。これが、現在の学科の外国人留学生を増やすことではなく、「国際 IT ビジネス学科」のことをさしているのであれば、良いと思う。

## 項目 8 財務

評価：3.89

- ① 現体制になり、予算・収支計画がしっかりなされていることを高く評価します。この努力を教職員全員が理解し、それぞれの職責を果たす努力に繋げていただきたいです。
- ② 月次の予算管理と実績分析で財務状況を的確に把握しているようです。入学者減への備えとして、中長期的な安定財源を確立する必要があると思います。
- ③ 財政状況を判断する指標となる資料があればと思います。

## 項目 9 法令等の遵守

評価：4.0

- ① 取り組むべき重点課題と組み状況がわかりやすくまとまっており、次への課題（事業計画）も明確です。ぜひ、継続してください。
- ② 学内情報の適正管理を徹底し、各部門・学科が自己評価を実施して改善に取り組む姿勢が評価できます。問題点の抽出から成果検証までを継続的に行い、組織全体の連携をさらに強化いただきたいです。

## 項目 10 社会貢献・地域貢献

評価：3.98

- ① 地域行事に積極的に参加されている。
- ② 地域行事への積極的な参加を通じ、学生が地域社会との連携や交流を深める機会を得ているのは良いと思います。イベント運営のノウハウを蓄積しながら、より多様な参加者と持続的に連携できる仕組みづくりを進められると尚よいと思います。
- ③ 学友会の活動に対し称賛していただき、労いの言葉をかけていただきたいと思います。それが学生への励みとなり、学校と学生たちの信頼関係に繋がるとと思います。

## 項目 11 国際交流

評価：3.91

- ① 留学生受け入れを積極的に遂行されている。
- ② 留学生の増加に驚かされました。先生方は苦勞されると思いますが、必要とされているのであれば、問題のない範囲までは受け入れ強化でしょうか。
- ③ 外国人受け入れは、全ての学科で検討してはどうか？
- ④ 業界や留学生のニーズに対応した学科新設と、留学生向けキャリア支援やガイドブック整備により、専門性と受け入れ体制が強化されているようです。令和7年度の新設に備えて、さらなるサポート体制の拡充や多文化理解の促進を徹底し、学生の多様な将来像に応えられる環境づくりが出来るとよいです。

- ⑤ 留学生が増えることにより、先生方の負担が重くなることが想定されます。大学では留学生全体を取りまとめる責任部署があると思いますが TIST ではどうでしょうか？